

# 第3回「異常気象と長期変動」研究集会

平成17年度防災研究所特定共同研究集会(17-S3)  
「気候変動のメカニズムと予測可能性」講演プログラム

開催日時 2005年10月27日(木) 13:30~18:00  
2005年10月28日(金) 9:40~17:00

開催場所 京都大学宇治キャンパス内 化学研究所共同研究棟大セミナー室

2005年10月27日

セッション1

司会: 木本 昌秀(東大・気候システム)

13:30 趣旨説明

木本 昌秀(東大・気候システム)

13:40 熱帯域における季節内振動の予測可能性評価

久保田拓志\*(大阪府大・工)・向川均(京大・防災研)・前田修平・佐藤均(気象庁・気候情報)・岩嶋樹也(京大・防災研)

14:00 ハドレ - 循環でみた季節進行の長期変化傾向

小林ちあき\*・前田修平(気象庁・気候情報)

14:20 季節内変動スケールの対流活動と循環場との関係

遠藤洋和・原田やよい\*(気象庁・気候情報)

14:40 PJ パターンの構造と力学

小坂洋介\*・中村尚(東大・理)

休憩 15:00-15:10

セッション2

司会: 向川 均(京大・防災研)

15:10 CCSR/NIES/FRCGCにおける大気海洋結合効果

稲津将\*・木本昌秀(東大・気候システム)

15:30 アンサンブル予報を用いた簡易感度解析

榎本剛\*(海洋研究開発機構)・山根省三(千葉科学大)・大淵済(海洋研究開発機構)

15:50 地球大気の特異固有解として得られる北極振動

田中博(筑波大・計算科学)

16:10 線形大気の定常応答問題に対する加速反復解法

渡部雅浩(北大・地球環境)

休憩 16:30-16:40

セッション3

司会: 前田 修平(気象庁・気候情報)

16:40 冬季東アジアモンスーンの年々変動 - 惑星波の季節進行の視点から -

高谷康太郎\*(海洋研究開発機構)・中村尚(東大・理)

17:00 東シベリアの積雪は北半球環状モードを励起するか?

車恩貞\*・木本昌秀(東大・気候システム)

17:20 西風バーストを介したAOによるENSOの変調

中村哲\*・立花義裕(東海大)・本田明治(海洋研究開発機構)・山根省三(千葉科学大)

17:40 PNAのライフサイクル

森正人\*・渡部雅浩(北大・地球環境)

懇親会(宇治生協会館 2F ピアチ) 18:30-20:30

2005年10月28日

セッション4

司会: 廣岡 俊彦 (九大・理)

09:40 ENSO、成層圏突然昇温、最近のトレンド

田口正和\*(愛教大)・Dennis L. Hartmann(ワシントン大)

10:00 どんな成層圏突然昇温が対流圏まで伝播するか

山崎孝治\*・中川憲一(北大・地球環境)

10:20 成層圏循環を通しての太陽活動の熱帯積雲対流活動に及ぼす影響

小寺邦彦(気象研)

休憩 10:40-10:50

セッション5

司会: 渡部 雅浩(北大・地球環境)

10:50 成層圏突然昇温時の成層圏-対流圏結合の予測可能性

一丸知子\*・廣岡俊彦(九大・理)・向川均(京大・防災研)

11:10 CO2増加時の Brewer-Dobson 循環の変化

小玉知央\*・岩崎俊樹(東北大・理)・柴田清孝・行本誠史(気象研)

11:30 波動平均流相互作用に基づくエネルギーとその変換項の季節変化

望月泰\*・岩崎俊樹(東北大・理)

昼食休憩 11:50-13:20

セッション6

司会: 伊藤 久徳(九大・理)

13:20 大気長周期変動が日本域の延長予報に与える影響-2005年冬の事例-

小山博司\*・渡部雅浩(北大・地球環境)

13:40 2005年5月の低温をもたらした低指数循環の持続とその予報

佐藤均\*・小林ちあき・前田修平(気象庁・気候情報)

14:00 2005年1月末の大西洋のブロッキングからアジアジェット沿いに伝播したロスビー

波の実況と予報について

伊藤明\*・前田修平(気象庁・気候情報)

休憩 14:20-14:30

セッション7

司会: 田中 博(筑波大・計算科学)

14:30 北半球夏季における季節内長周期変動とオホーツク海高気圧

堀川英隆\*(京大・理)・向川均(京大・防災研)

14:50 2003年と2004年夏のオホーツク海高気圧の1か月予報

前田修平\*・佐藤均・伊藤明(気象庁・気候情報)

15:10 夏季東アジア域の天候の年々変動

荒井美紀\*・木本昌秀(東大・気候システム)

休憩 15:30-15:40

セッション8

司会: 余田 成男(京大・理)

15:40 オホーツク海の海氷の経年変動に対する秋季の大気の影響

佐々木克徳\*・見延庄士郎(北大・理)

16:00 全球大気海洋結合シミュレーションにおける低気圧活動とオホーツク海の海氷

吉田聡\*・小守信正・大淵済(海洋研究開発機構)

16:20 COBE-SSTを用いた全球平均気温の算出について

石原幸司(気象庁・気候情報)

16:40 夏季の黒潮続流域における大気観測

谷本陽一(北大・地球環境)

17:00 終了

## 研究集会発表要旨作成要領

ご講演頂いた皆様には大変お手数で恐縮ですが，研究集会の報告書を作成致しますので，以下の要領でご講演の要旨をご執筆頂き，期日までにご送付頂けますようお願い申し上げます．

期日: 2005年11月30日

提出ファイル形式: pdf ファイル

提出方法: e-mail の添付ファイルとして

mukou@dpac.dpri.kyoto-u.ac.jp

宛に，お送り下さい．

e-mail で送付できない場合は，下記までご連絡下さい．

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所気象水象災害研究部門

向川 均

TEL: 0774-38-4151

FAX: 0774-38-4153

書式:

- A4 で4ページ程度以上
- 上下は3cm程度，左右は2.5cm程度のマージン(空白)をとる．ページ番号は記載しない
- カラー図版使用可
- 本文フォントサイズは11ptで，2段組みが望ましい(1段組みでも可)
- 引用文献もつけてください
- 先頭ページスタイルは以下のようにお願いします

講演タイトル[中央寄せ]

氏名(所属)[右寄せ]

本文開始(本文は11ptが望ましい)

文例として

<http://www.dpac.dpri.kyoto-u.ac.jp/mukou/meeting-03/Report/mukou.pdf>  
を御参照ください．

以上です．

## JR 奈良線 黄檗駅 時刻表(平日)

### 京都 ⇒ 黄檗 (往路)

08時	京都	13	25	44	54
	黄檗	37	48	04	17
09時	京都	08	23	36	53
	黄檗	30	46	00	14
10時	京都	08	23	38	53
	黄檗	30	44	00	14
11時	京都	08	23	38	53
	黄檗	30	44	00	14
12時	京都	08	23	38	53
	黄檗	30	44	00	14
13時	京都	08	23	38	53
	黄檗	30	44	00	14

### 黄檗 ⇒ 京都 (復路)

15時	黄檗	14	22	44	52	
	京都	31	44	01	14	
16時	黄檗	14	22	44	52	
	京都	31	44	01	14	
17時	黄檗	14	33	42	49	
	京都	37	51	00	08	
18時	黄檗	04	17	42	54	
	京都	22	44	01	15	
19時	黄檗	09	18	42	47	58
	京都	31	44	59	08	18
20時	黄檗	10	26	42	58	
	京都	28	45	00	15	
21時	黄檗	11	33	44		
	京都	29	55	02		
22時	黄檗	12	35	47		
	京都	30	55	07		